

「広島神楽」定期公演へようこそ!

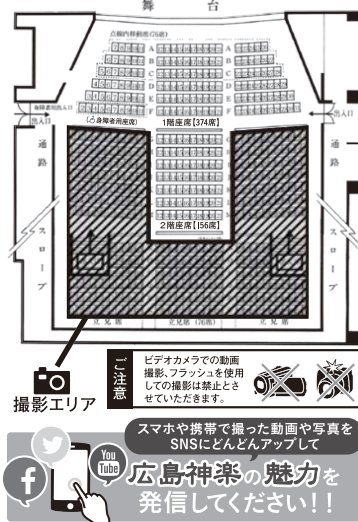
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



12月28日のタイムスケジュール

出演：大森神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『紅葉狩』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。（舞台へは靴を脱いでお上がください。）
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

おもしろかぐらだん

大森神楽団プロフィール ～広島市佐伯区～

大森神楽団は、明治の初期から氏神社である大森八幡神社（広島市佐伯区湯来町伏谷）の奉納を第一義として活動してまいりました。台風による災害時を除いて、奉納の伝統を守ってきたことは私どもの誇りです。また、神楽の可能性を求めていく過程で、幸いにして、様々な行事に奉納する機会を得ることができるようになり、大変感謝しております。

古き良き神楽の伝承にも心を配りつつ、地域に根付いた神楽団として先輩方の神楽への熱き情熱を良き伝統として引き継ぎ、『大森神楽』を皆様にお届けしたいと考えております。

第一幕『滝夜叉姫』（たきやしやひめ）

東の国の新皇を名乗った平将門（たいらのまさかど）は、天慶（てんぎょう）の乱で藤原秀郷（ふじわらのひでさと）・平貞盛（たいらのさだもり）の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫（さつきひめ）は、父の怨念を果たす為、貴舟（きふね）の社（やしろ）に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総（しもふさ）の国・相馬（そうま）の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀（おおやのちゅうじょうみつくに）らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 加藤 壘	大宅中将光圀 … 原 幸一	滝夜叉姫 … 吉政 友也
	小太鼓 … 陣 星輝	下田義近 … 菊川 勇樹	夜叉丸 … 土井 学
	手打鉦 … 増田 卓巳		蜘蛛丸 … 田川 夢翔
	笛 … 佐上 季恵		

第二幕『紅葉狩』（もみじがり）

奥州会津の生まれで大自在天魔の血を受け継ぐ更科姫は、都に出て源家を滅ぼし魔国にしようとしたが、陰陽師に正体を見破られ信州は戸隠山へと追いやられてしまいます。奥山に住みつき庶民に災いを為した。

鹿狩り出掛けた平維茂主従は道中紅葉狩を楽しみながら奥山へと向かいます。維茂主従の動向を察知した更科姫は、麗しき女人に姿を変え山中で紅葉狩りの酒宴をはり、維茂主従をその酒宴に誘い込み、酒に酔い伏した維茂主従の命を狙おうとするが、八幡大菩薩が現れ、女人の正体を告げ神剣を授けます。神剣を授かった維茂は八幡の神の威徳をもってめでたく鬼女を成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 加藤 壘	平維茂 … 土井 学	更科姫 … 本西 満明	大 鬼 … 吉政 友也
	小太鼓 … 菊川 勇樹	相良蔵人 … 吉田 圭壮	姫 … 松本 智幸	八幡大菩薩 … 井上 一
	手打鉦 … 田川 夢翔	家 来 … 原 幸一	雪 姫 … 佐上 友貴	
	笛 … 佐上 季恵			

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。